

鑑政連の成果及び課題

項目	成果	課題
地価公示予算の拡充	<p>地価公示予算の削減圧力が高まるなか、令和2年度は前年度とほぼ同額の予算を確保し、26,000地点体制を堅持。</p> <p>(※次の地価公示地点数のグラフをご参照)</p>	<p>品質と担い手の確保のため、以前削減を受けた報酬単価の回復。</p> <p>地価公示における新たなニーズへの対応とその役割拡大。</p>
契約選定方式	<p>価格（報酬）に重点を置いた受任者選定はなじまないことを訴え、議員連盟は「不動産鑑定評価の質の確保・向上に関する提言」を发出。</p> <p>財務省はオープンカウンター方式を廃止し、鑑定業者の選定に価格以外の要素も考慮する新たな方式を導入。</p>	<p>さらなる改善を求めつつ、地域の実情に応じた受任者選定方式の浸透に取り組む必要。</p>
用対連基準の見直し	<p>長期間見直しが行われていなかった用対連基準について、令和2年3月に約20年ぶりの改定が実現。</p> <p>更地の場合の最低報酬が145,000円から161,000円へと上昇。</p>	<p>新たに改定された報酬基準の周知。</p> <p>不適切な依頼をなくすための依頼者支援。</p>

